

10月中旬まき施設コマツナの有望品種の選定

小坂井宏輔
(江戸川分場)

【要 約】本作型では、株張りが良好で葉色が濃く、側根量が少なく草姿が極立性の「里のなつ」、株張りや揃いが良好で葉色が濃く、草姿が極立性の「さくらぎ」が特に有望で、次点で株張りや揃いが良好な「優翠」、揃いが良く葉色が濃い「必閃」が有望である。

【目 的】

コマツナは都内における生産量が野菜の中で最も多く、基幹作物である。また、コマツナの品種は多岐にわたり、生産現場では品種特性の把握が困難である。そこで本試験では10月中旬まき施設コマツナの品種特性を明らかにし、有望品種を選定する。

【方法】

品種は14品種(表2)を供試し、10月17日に近紫外線除去フィルムを展張したパイプハウスに条間14cm、株間5cmで播種した。施肥は全量基肥で、N-P₂O₅-K₂Oを7-7-7kg/10a施用した。雨天時および低夜温時は側窓を閉めて管理した。生育調査は11月22日(播種36日後)に行った。

【成果の概要】

1. 生育期間中の気象条件をみると、平均気温は生育期間を通して概ね例年より高く、特に生育前期は例年より4℃前後高かった。降水量は生育中期で多かったが、前期、後期は少なく、全体量では例年と同程度となった。日照時間は例年より短い日が多かった(表1)。
2. 各品種の最大葉長は26.4~33.9cmとなり、概ね収穫適期であった(表2)。
3. 収量性について、「里のなつ、優翠、さくらぎ」は地上部重/最大葉長の値が1.1以上と他の品種より高く、株張りが良好であった。また、「優翠、必閃、神楽坂、さくらぎ」は最大葉長・地上部重の変動係数が小さく揃いが良かった。
4. 商品性について、「里のなつ、必閃、神楽坂、江戸の小町、さくらぎ」はSPAD値が45以上と他の品種より高かった。また、カップングの程度は多くの品種で低く、「夏楽天、神楽坂、いなせ菜、江戸の小町」を除き2(やや弱)以下となった。
5. 作業性について、「夏楽天、里のなつ、江戸の小町」は側根量が2(やや少)以下となり、収穫時の土の付着が少なかった。また、「里のなつ、さくらぎ」は草姿が極立性であり、収穫が容易であった。
6. 以上の結果から、本作型では、株張りが良好で葉色が濃く、側根量が少なく草姿が極立性の「里のなつ」、株張りや揃いが良好で葉色が濃く、草姿が極立性の「さくらぎ」が特に有望で、次点で株張りや揃いが良好な「優翠」、揃いが良く葉色が濃い「必閃」が有望である。

【残された課題・成果の活用・留意点】

例年と同程度の気温の場合、品種によっては生育が緩慢になる可能性がある。

表1 栽培期間中の気温，日照時間の推移

月	半旬	平均気温(℃)						日照時間		降水量	
		日平均		日最高		日最低		本年 (hr)	平年比 (%)	本年 (mm)	平年比 (%)
		本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
10	4	21.75	+4.3	25.4	+4.3	19.5	+5.1	12	58	0	0
	5	20.5	+3.8	23.6	+3.5	17.3	+3.7	15	62	3	6
	6	18.1	+1.6	21.7	+1.2	15.3	+2.3	14	38	50	261
11	1	17.3	+1.3	20.4	+0.3	13.8	+1.5	25	80	45	610
	2	13.6	-2.1	17.3	-2.4	10.6	-1.9	30	118	1	9
	3	16.5	+2.4	19.5	+1.6	12.8	+2.0	17	66	5	45
	4	13.5	-0.0	16.7	-0.9	10.8	+0.8	15	51	5	44

気象庁（江戸川臨海地点）のデータを使用。

10月第4四半期は17～20日までのデータを示す。

平年値は2014年～2023年の10年間の平均値を使用

表2 10月中旬まきハウスコマツナの品種特性

No.	品種名	種苗 会社 ^a	最大葉長		地上部重		地上部重 /最大葉長	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	胚軸長 (cm)	節間長 (mm)	カップニング		側根量 ^c	草姿 ^d
			(cm)	c. v.	(g)	c. v.						程度 ^b	程度 ^b		
1	菜々美	タ	29.7	0.09	29.6	0.26	1.00	5.0	37.2	1.3	7.5	1.7	2.9	立	
2	こいしい菜	カ	27.5	0.09	24.2	0.33	0.88	4.9	38.1	0.7	6.8	1.6	3.0	立	
3	夏楽天	タ	33.9	0.09	33.1	0.27	0.98	4.5	35.7	1.1	8.9	2.9	1.9	立	
4	里のなつ	ム	28.0	0.06	31.2	0.22	1.12	5.1	46.6	0.7	10.3	1.4	2.0	極立	
5	スカイホワイト	ニ	29.2	0.09	31.3	0.27	1.07	4.4	37.2	0.6	13.5	1.6	3.6	中	
6	優翠	ワ	26.8	0.04	33.6	0.17	1.25	5.1	40.9	0.6	11.3	1.8	2.6	中	
7	よかった菜	カ	31.5	0.06	25.6	0.25	0.81	4.7	44.6	1.4	8.9	1.6	3.4	中	
8	菜々子	タ	30.9	0.06	30.2	0.23	0.98	4.6	40.5	0.9	9.3	1.5	3.2	立	
9	江戸の舞	ニ	28.5	0.07	26.6	0.29	0.93	4.3	41.9	0.8	7.3	1.5	3.1	立	
10	必閃	カ	26.4	0.05	27.2	0.21	1.03	4.7	47.8	0.8	10.6	1.5	3.7	立	
11	神楽坂	ニ	31.8	0.06	33.1	0.18	1.04	4.6	47.1	1.0	9.1	2.3	2.9	立	
12	いなせ菜	カ	27.9	0.09	23.4	0.37	0.84	4.6	41.5	0.9	9.1	2.4	3.1	立	
13	江戸の小町	ニ	32.3	0.09	29.9	0.24	0.92	4.7	46.8	1.2	7.5	2.5	1.6	立	
14	さくらぎ	サ	30.2	0.05	33.8	0.18	1.12	4.6	45.2	0.7	10.0	1.6	2.9	極立	

10月17日播種，11月22日調査。調査は1区10株，2反復で実施した。

a) タ(タキイ種苗)，カ(カネコ種苗)，ム(武蔵野種苗園)，ニ(日本農林社)，ワ(渡辺農事)，サ(サカタのタネ)

b) 最大葉長の半分以上の長さがある葉の枚数

c) カップニング：〔Σ(指数×指数別株数) / 調査株数〕 指数：1(弱)，2(やや弱)，3(中)，4(やや強)，5(強)

d) 側根量：〔Σ(指数×指数別株数) / 調査株数〕 指数：1(少)，2(やや少)，3(中)，4(やや多)，5(多)

e) 草姿：極立～立～中～やや開～開